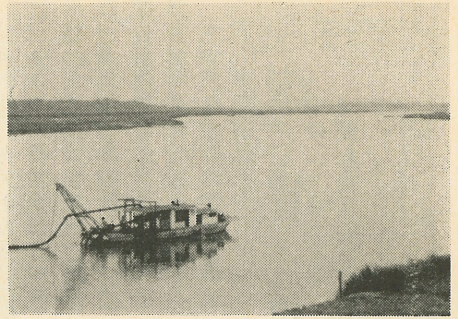


とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和43年1月10日発行 第45号



年頭のごあいさつ

利根町長 加納久頭



ちょうど百年にあたるわけですが、この記念すべき年の始めにあたりどなたさまも大きな希望に胸をはずませて一年の計画をお立ての事と存じます。

町内の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんもお元気で昭和四十三年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
さて、本年は明治改元以来

町政一ヶ年を顧みて今後に望むもの

利根町議会議員 小島栄一郎



の職責を遂行してまいりました。

私は初議会における議長就任冒頭において、派閥解消による挙町一致体制の確立を要望いたしました。幸いに議員各位の理解と協力により、いまや一片の派閥的色彩もなかつた政策上における論争はその例を定例会における一般質問で見らるる如く、舌戦時間にもわたる白熱化した議事運営こそけだし正常化した議

悟でございますので、なにも旧にも旧に倍する御支援と御協力をお願い申し上げます。

ご承知のように町では現在栄橋の掛け替え問題をはじめ中学校の統合問題、農業の近代化と構造改善のための諸事業も着々とその手を進めておりますが、以上のことはすべて住民の福祉に深いつながりを持つものばかりですので、大きな成果が期待されるわけですが、町の財政も相当に窮屈化しております折、町民の皆さんの深い御理解と積極的な協力が特に望まれるところでございます。

会政治の姿と言いましよう。今日まで極めて短い期間ではありますが、町の飛躍的發展の基礎作りが着々と進められてまいりました。

まず五月早々、かねて前議会より論議された北相馬四町合併の問題を検討し、諸般の情勢より、現時点においては合併は時期尚早であるとの観点から、これを一応白紙に返し、当町自ら自主的開発計画を樹立し、その課程において合併問題の再検討を図るべく決定しました。

次いで前議会でその結論を得られなかった懸案の統合中

私共は常に世論の現状を把握し、時代に即応した計画的な行政を通じて推進し、明るい利根町の建設に努力したい所存でございます。

年頭に際し、皆さんの御健勝と御繁栄をお祈り申し上げます。

さらに議会は、新栄橋架設を契機として、利根町の総合的開発を図り、多年東南の低開発地区と言われた当町十年のおくれを取り戻し、一大田園都市建設を目ざし、目下県及び国の関係機関の指導のもとに、これが基本方針を検討中であります。

これら諸施策を遂行するに当たり、私は率直に町の財政的窮乏を皆さまに訴え、御賢察を仰ぎたいと存じます。いま町の急務は健全財政の確立であります。多年の累計された赤字が多額に上り、このままの推移をみたなら数年を経ずして憂慮すべき事態に陥るは必至であり、この赤字経営の立て直しのためには、抜本

的対策が必要であります。

すなわち一切の消費的経費を大幅に削減し、建設的経費に重点を指向し、町自体が企業の形態を帯びることが必要と思われる。したがって従来交付されていた町内各機関への補助金の削減等も当然行なわれることになりましょう。利根町百年の大計達成のために皆さまの理解ある御協力をお願いするものであります。議会はまた常に世論の動向を見失わぬよう皆さまとの接触を図り、広く各層の意向を

議会だより

助役に三谷俊雄氏を選任

昭和四十二年第七回臨時議会

昭和四十二年第七回臨時議会は、去る十二月二十三日午後一時から役場の会議室で開かれ、欠員中の助役に三谷俊雄議員を選任した。(町長提出議案第一号)

三谷氏は、明治四十三年二

謙虚に聞き、これに反映した施策を行ない、ひたすら皆さまの福祉の増進を第一義として本年もまたたゆまぬ努力を続ける覚悟でございます。

首都圏内町村は、いまやたぐましく開発の意欲に燃えて高度の成長を見せております。私たちは臂に感ずる近隣町村の飛躍をただせん望せず、時流に対応し、全町にみなぎりつつある開発意欲を結集し、明日の光栄のために、共にいばらの道を歩もうではありませんか。

道路舗装第二期工事終わる

― 文間保育所前 ―

第一期工事に引き続き、舗装第二期工事は昨年十月に着工し、十二月いっぱい完成いたしました。

最初の計画では、大房十路までの予定でしたが、国からの補助金の都合で、文間小学校入口まで三百八十メートル、事業費四百万円で写真のように立派に完成いたしました。

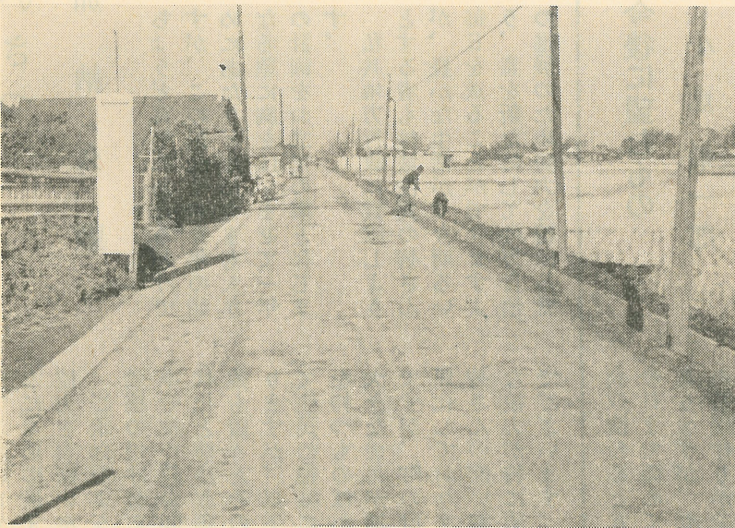
た。

これも関係皆さんの御協力によるものであり、深く感謝しております。第三期工事も引き続き行なう予定ですのでなお一層の御協力をお願いいたします。完成までの間、町民の皆さんにはなにかと不便をおかけしましたのでお詫びを申し上げます。

謹賀新年

昭和四十三年一月一日

利根町役場



道路は私たちのものです。道路の利用者は一致協力して、道路を広く美しく使用しましょう。自動車は積載量を守り、道路を損傷しないようにしましょう。

1月のくらしのメモ

あけましておめでとうございます。どなたさまもよいお正月をお迎えになったことと思います。ことしもぜひ健康で幸福なよい年でありますよう、とまども祈念いたしましたしょう。

▼官庁御用始(四日)：一般事業所もこの日を御用始めとするところが多くなりました。

▼小寒(六日)：この日から二月五日の立春までを寒中と言ひ、寒さが身にしみてきます。かぜなどひかないように。

▼七草(七日)：七草がゆを祝うことは、まだ日本の各地に残っているお正月のゆかしい風習の一つでしょう。七草とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ(かぶ)のことです。

▼成人の日(十五日)：おとなになったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日です。

▼いよいよ新学期：冬休みが終わるといよいよ三学期にはいります。お正月に始まるこの学期は四月の学年初めと違つたいせつな意義があります。三月の

商工会だより

年頭のごあいさつ

利根町商工会長 新井 太郎

明けましておめでとうございます。昨年中は会員の方々の御協力により、予定どおりの成果をあげましたことを、心から感謝申し上げます。

およそ事業というものは、一人二人の力でできるものではありません。必ず多数の人の協力がみのりみにつて、成就するものであります。

利根町の商工業者は、首都圏内にありながら、立地条件に恵まれぬため、努力しても努力しても目の当たらぬ立場におかれてまいりました。しかしながらようやく昨年は、景気回復の年と言われるように生産も購買力も上昇しつつありました。最近またまた国際収支の悪化により前途不安が感ぜられる状態となり、国及び県においても私たち中

小企業に対し、腰を入れてその対策を打ち出してまいりました。

幸い町当局も時を同じうして地域発展のため、栄橋の掛け替え、住宅地造成の埋め立て、中学校の統合及び交通の整備などの実現に鋭意努力せられておりますので、必ず近い将来には、利根町商工業者も脚光を浴びる日が来ると信じております。

よく商売の秘けつは、三ほれ(惚)主義とか、一に女房にほれる、二に家業にほれる三に土地にほれると言う意味に徹してお互いに郷土を愛し胸に希望の火をともしながらことしこそ明るいみのある年にしたいと思っております。一層の御協力をお願いいたします。

利根町名物

びつくり市誕生!!

青年部二十日会昨年十二月の会合で、今月末第一回びつくり市を行なうことに決定。詳細は、青年部役員会で決めることになりました。

青年部員で参加希望者は、新井幸雄部長まで申し込んでください。町の皆さま方の御支援をお願いいたします。(利根町商工会事務局)



苗作りから収穫まで

第二回稲作技術講演会

利根農協主催、利根町役場利根地区流通対策協議会、取手地区普及所後援による、第二回稲作技術講演会が、昨年十二月十五日東文間小学校で開催されました。

この日はまず「農協の運営は、組合員の協力がなければ困難である。幸いことしは皆

今月の納税【1月】

町県民税(第4期)
国民健康保険税(第4期)
水道使用料
有線放送使用料

さまの御協力により、ようやく軌道にのりはじめました。今後ともこのような会をたびたび持ちたいと思っております。どしどし御利用下さるようお願いいたします」という山田政雄組合長のあいさつに続いて、九月新任の萩原取手地区普及所長があいさつし、さらに、県農業試験場化学部長農学博士石川昌男先生の講演に移りました。

【写真は、昨年十二月十五日東文間小学校で行なわれた第二回稲作技術講演会。終了後質疑応答が行なわれた】

おもしろく説明して下さいました。

つまり、米の収量は、穂数×もみ数×みのり歩合×粒の大きさの四つで決まるということでした。それには、苗を健全に育てる。水の管理をよくする。施肥を合理的にする。病虫害から守る。適期に刈る。乾燥調整を完全にするなど、あらゆる条件が完ぺきとはいかないまでも、それに近い状態にもつていく努力が特に望まれるわけです。

昨年は史上最高の大豊作でしたが、ことしもさらに研究を続けて昨年に負けない収穫をあげようではありませんか(利根町農業協同組合)

町勢	(昭和43. 1. 1 現在)
世帯数	1,767
人口	8,750 { 男 4,271 女 4,479 }
発行所	利根町役場
町長集	加納久頭
編集	利根産業経済課
電話	〔利根〕(029768) 9番
印刷	倉沢印刷株式会社